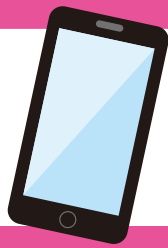


各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



Q (仮称) KOSH I アリ整備に向けた支援について

NEXT越谷

野口 高明 議員

問 本市の財政状況は非常に厳しい状況。公費投入の考え方、市長が考える投資金額の最大額は。

部長 民設民営が市のスタンスなので、財政的な支援をするにしても、極力抑制をするというのが本市の基本的な考え方。これから、越谷アルファーズが検討している詳細な事業計画、資金調達計画、収支計画等をしっかりと調査、検証し、支援内容など、その妥当性を判断していく。



A Iによる(仮称) KOSH I アリイメージ



Q 自治会自主運営のコミュニティバスについて

NEXT越谷

浅古 高志 議員

問 市民が自費を投じ、自治会中心でのコミュニティバスを運営していることについて市長はどのように捉えているか。

市長 地域の自治会等が主体的に行う互助活動による運送サービスは、乗り合い交通が利用しづらい地域における移動手段として期待されるものであると考えている。今後についても、住民主体の活動に対する支援の在り方について調査研究していく。



大間野町コミュニティバス



Q 公平公正な選挙の在り方について

NEXT越谷

立澤 貴明 議員

問 市長選挙の直前に75歳以上のバス・タクシー運賃補助事業のお知らせチラシが一齐に郵送され、チラシには福田市長の顔写真が掲載されていた。選挙の直前に顔写真と名前を載せて配るのは事前運動と考えるが、選挙管理委員会事務局長の考えは。選挙管理委員会事務局長 事前に担当課から相談があり確認をした。顔写真や名前等を大きく記載することで事前運動と誤解を与えることがないように申し添えた。



運賃補助事業お知らせチラシ



Q 市立病院に対する市長の基本的な考え方について

無所属

大田 ちひろ 議員

問 全国で公立病院の赤字が続く中、市立病院の経営悪化を不安視する声がある。市長の市立病院に対する基本的な考え方は。

市長 市立病院は市民の命を守る大切な病院であり、なくす考えはない。コロナ後の患者数減少や物価高騰で経営は厳しいが、救急の受け入れ強化などは一定の成果が出ており、今後も経営改善に取り組んでいく。国の支援も活用し、持続できる病院運営を目指す。



Q 市長の2期目の意気込みについて

立憲民主党越谷市議団

後藤 孝江 議員

問 1期目の実績を踏まえた2期目の意気込みは。

市長 1期目の実績を踏まえ、さらに進化させた政策の三本柱の実現に向け、医療・介護・教育・防災・交通・インフラなど暮らしを支える基盤をしっかりと維持・強化するとともに、市民の皆様の声に耳を傾け、一つ一つの課題に真正面から向き合うことで、未来に責任のある市政を進めていきたい。



Q ヤングケアラーへの支援について

自由民主党越谷市議団

清田 巳喜男 議員

問 ヤングケアラーに対し、本市ではどのように具体的な支援をしていくのか。市長の見解は。

市長 ヤングケアラーと思われる子どもを把握した際は、総合相談窓口であることも家庭センターへ連絡をいただき、支援につなげる仕組みを確立していきたい。また、ヤングケアラーを含む家庭全体の課題を共有し個々の状況に応じた支援方針を協議し、切れ目のない支援につなげていきたい。



Q 小・中学校での新型コロナ後遺症に対する対応について

立憲民主党越谷市議団

小口 高寛 議員

問 小・中学校での新型コロナ後遺症に対する対応は。

教育長 個々に応じた配慮や支援を充実させ、児童生徒や保護者が安心して学校生活を送れるように努め、学校の対応が難しい場合には、学校や医療機関と連携を図る。また、差別や偏見などがないように、校長会や研修の場で心の教育、人権教育、情報モラル教育などの充実について指導、助言していきたい。



Q ケアラー支援の充実を図ることについて

無所属

清水 泉 議員

問 越谷市ではケアラー支援条例の制定は行わず、ケアラー支援を実行していくとしているが具体的な施策は。

市長 実態調査を踏まえ、「庁内外における相談支援体制を構築」「職員向けケアラー支援の手引を作成」「越谷市ケアラー支援ガイドブックを作成」の3つの支援策を取りまとめた。ケアラーの方が社会から孤立することを防ぎ、個人として尊重され、健康的な生活が送れるよう支援の充実にも努める。



Q 公共交通運賃補助をデジタル方式にした経緯について

日本維新の会

小林 成好 議員

問 75歳以上の対象者に案内文と紙チケットを同封すれば済んだものをスマホ登録の「越谷げんき de Maa S」にした経緯は。

市長 紙チケットの場合、印刷・郵送の費用が毎年かかり、回収・集計・精算事務に事業者・職員ともに労力を要し、ミスや紛失リスクもある。さらに利用者の利便性向上を総合的に判断し、デジタル方式でのキャッシュレス運賃補助とした。